日本写真測量学会平成 25 年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：平成25年11月７日（木）　9時40分～18時30分
17時30分～18時30分　特別講演会「福井県における衛星リモートセンシングの実利用」青山隆司教授（福井工業大学・電気電子情報工学科）
19時00分～21時00分　懇親会　会場：「ホテルフジタ福井」　参加費：5,000円（学生 4,000円）
11月８日（金）　9時30分～16時10分
11月９日（土）巡検 8時20分集合 8時30分出発　巡検コース：ホテルルートイン前出発 ― 北の庄（お城・郷土歴史博物館）― 東尋坊へ　昼食後 ― 丸岡城（天守閣・城内を巡検）―
―乗谷館（遺跡・資料館）　福井駅にて解散
巡検参加費：3,500円（バス代，昼食，入場料込）

開催場所：福井県国際交流会館
〒910-0004　福井県福井市宝永３丁目１－１
電話：0776-28-8800　FAX：0776-28-8818　HP：http://www.f-i-a.or.jp/ja/plaza/
会場：３階 第１・第２会議室（講演会場）　第３会議室（展示会場）
学会参加費（論文集代含む）：会員 5,000円，非会員 7,000円，学生 3,500円（会員・非会員共）

第１日目　11月７日（木）

9：40-9：55　開会のあいさつ　会長　近津　博文

第１会議室			第２会議室		
セッションＡ		動体計測　司会　武田浩志（国際航業）	セッションＤ		レーザ計測（森林）　司会　織田和夫（アジア航測）
9：55-10：15	A-1	オクルージョンのある交通流画像からの車両台数の自動推定 ○南　翔大・須﨑純一（京都大学）	9：55-10：15	D-1	衛星画像解析における樹木の三次元ボクセルモデルの要求精度 ○久松由衣・高木方隆（高知工科大学）
10：15-10：35	A-2	RGB 単色光と明度を利用したトンネル壁面のひび割れ検知に関する研究 ○石森章之・佐田達典・石坂哲宏（日本大学）・その他１名	10：15-10：35	D-2	航空レーザスキャナ計測の波形記録情報を用いた森林構造の把握に関する検討 ○田子彰大・力丸　厚・坂田健太（長岡技術科学大学）・その他１名
10：35-10：55	A-3	レーザー反射強度を用いた路面オルソ影除去についての研究 ○柳下　大（朝日航洋）・近津博文（東京電機大学）	10：35-10：55	D-3	簡易型地上レーザースキャナによる森林構造計測の基礎的研究 ○立川恭太郎・本多嘉明・梶原康司（千葉大学）
10：55-11：15	A-4	MMS による路面オルソ画像生成の効率化を目的とした非路面領域の自動抽出 ○坂元光輝・橘　菊生・朱　林（パスコ）・その他１名	10：55-11：15	D-4	航空レーザ計測データを用いた林分材積式の検討 ○大野勝正・伊藤史彦・和智明日香（アジア航測）
11：15-11：35	A-5	ビデオ映像を利用した竜巻の位置の同定 ○神谷　泉（国土地理院）・松岡洋子（早稲田大学）・乙井康成（国土地理院）	11：15-11：35	D-5	衛星画像と航空機 LiDAR データを用いたインドネシア･南スマトラ州におけるマングローブ林のバイオマス量推定 ○今井靖晃(国際航業)･棚橋雄平(国際緑化推進センター)･阿久根直人(ワイ･エルビルディング)･その他４名
11：35-12：35		昼　食			

12：35-13：35		ベンダーフォーラム　　司会　中西芳彦（国際航業）
		１．アジア航測「図化名人 GE2/SA2のご紹介」２．朝日航洋「3D-SDS のための Asahi GT-4活用事例のご紹介」３．日本インターグラフ「Intergraph Geospatial 製品の最新動向のご紹介」４．ライカジオシステムズ「ライカジオシステムズセンサー商品の紹介」５．パスコ「衛星関連プロダクトのご紹介」６．Exelis VIS「最新のリモセンソリューションの紹介」７．ビジョンテック「セミリアルタイム画像配信サービス」 その他
13：35-13：40		休　憩

セッションＢ		測位　　司会　國井洋一（東京農業大学）	セッションＥ		リモートセンシング（推定・評価）　　司会　鎌形哲稔（国際航業）
13：40-14：00	B-1	高精度測位のための衛星電波選択モデルに関する研究 ○池田隆博・佐田達典（日本大学）	13：40-14：00	E-1	航空機計測を用いた市街地における景観指標の評価 ○小宮佑登・須﨑純一（京都大学）
14：00-14：20	B-2	準天頂衛星の LEX 信号を用いた測位特性の把握 ○白石宗一郎・鹿田正昭（金沢工業大学）	14：00-14：20	E-2	航空写真による森林の樹種判読技術の開発 ○朱　林・チャタクリ スバス・島村秀樹（パスコ）
14：20-14：40	B-3	カメラ撮影画像による自己位置・姿勢の推定 ○李　勇鶴・佐藤俊明・橘　菊生（パスコ）	14：20-14：40	E-3	可降水量データによる地表付近の相対湿度の推定 ○赤塚　慎（山梨県環境科学研究所）・大吉　慶（JAXA）・竹内　渉（東京大学）
14：40-15：00	B-4	GPS と画像を用いた人ナビシステムの検討 ○森　宣彦（大阪工業大学）	14：40-15：00	E-4	植生観測用ライダー方程式の提案と ICESat/GLAS データとの比較 ○大日方範昂（千葉大学）・浅井和弘（東北工業大学）・梶原康司（千葉大学）・その他１名
15：00-15：20	B-5	移動基準点を使った写真測量 ○村井俊治（発明家）			
15：20-15：30		休　憩			

セッションＣ		モバイルマッピング　　司会　坂元光輝（パスコ）	セッションＦ		災害・防災　　司会　布施孝志（東京大学）
15：30-15：50	C-1	モバイルマッピングシステムによる点群データを用いた交差点における可視性の評価 ○舩戸智也・佐田達典・石坂哲宏（日本大学）	15：30-15：50	F-1	二時期点群データを用いた最小二乗マッチングによる地すべり変位抽出手法の開発 ○秋山心平・高木方隆（高知工科大学）
15：50-16：10	C-2	長距離型 MMS システム（MX-8）による精度検証 ○島野宗太・阿部亮吾・福士直子（国際航業）・その他２名	15：50-16：10	F-2	転石・岩盤斜面調査を目的とした航空レーザ測量の課題改善 ○千田良道・高野正範（中日本航空）
16：10-16：30	C-3	車載レーザ点群を用いた道路標示の全自動図化 ○高橋元気・武田浩志・嶋野雄一（国際航業）	16：10-16：30	F-3	写真計測による雨天時のノンターゲット土砂災害モニタリング ○小野　徹・若木伸也（ズームスケープ）
16：30-16：50	C-4	点群の距離優先色付けの高速化 ○織田和夫・池田辰也（アジア航測）	16：30-16：50	F-4	耐震構造物の振動実験における高精度動的変位計測 ○小野　徹・若木伸也（ズームスケープ）・澤田純男（京都大学）・その他１名
16：50-17：10	C-5	車載カメラ画像からの人検出手法の基礎的検討 ○武田浩志・織茂　郁・政木英一（国際航業）	16：50-17：10	F-5	過去の地震被害地域における最近の地形変動 ○荒木春視（環境地質研究室）・村井俊治（日本測量協会）
17：10-17：30		休　憩			

17：30-18：30		特別講演会　　司会　須﨑純一（京都大学）
		題目「福井県における衛星リモートセンシングの実利用」 講師　青山隆司教授（福井工業大学・電気電子情報工学科）
18：30-19：00		移　動
19：00-21：00		懇親会　会場：「ホテルフジタ福井」 会費：5,000円（学生 4,000円）

第２日目　11月８日（金）

第１会議室

セッションＧ		画像計測　司会　小野　徹（ズームスケープ）
9：30- 9：50	G-1	ベクターデータを用いた画像標定手法に関する研究 ○神谷啓太・布施孝志（東京大学）
9：50-10：10	G-2	デジタル航空カメラ DMC、DMCⅡ250の写真判読性能及び位置精度の評価 ○福本慎弥・檀上拓也・根本　光（国際航業）
10：10-10：30	G-3	写真測量におけるタイポイントの設置個数による精度変化 ○小阪卓也・徳永光晴（金沢工業大学）
10：30-10：50	G-4	空中写真を活用した森林情報取得のための写真測量システムの開発 ○浦本洋市・橘　菊生・朱　林（パスコ）・その他１名
10：50-11：10	G-5	高解像度画像を利用した地図情報レベル250の精度検証 ○青木利昌・鈴木　寛・上野博志（朝日航洋）・その他１名
11：10-11：20		休　憩

セッションＨ		レーザ計測（地形）　司会　徳永光晴（金沢工業大学）
11：20-11：40	H-1	樹冠間から反射する LIDAR データから抽出する DEM の精度評価 ○木村恵輔(立正大学)･平　春(国立環境研究所)･酒井聡一(文京学院大学/立正大学)･その他1名
11：40-12：00	H-2	波形記録式航空機 LiDAR データに基づく地盤計測精度の評価 ○前田佳子・本田謙一・今井靖晃（国際航業）・その他２名
12：00-12：20	H-3	航空測深レーザ計測による河川、海岸線の地形計測 ○金田真一・大鋸朋生・畠　周平（アジア航測）
12：20-12：40	H-4	波形記録式航空レーザスキャナを用いた地盤抽出に関する基礎的検討について ○中野一也（朝日航洋/東京電機大学）・近津博文（東京電機大学）
12：40-13：50		昼　食

セッションＩ	特別セッション　司会　津留宏介（日本測量協会）
13：50-15：50	テーマ「地上レーザ測量の公共測量への適用」 演題 ・測量新技術の公共測量への適用について：○長谷川裕之（国土地理院） ・地上型レーザースキャナの特性：新発田知哉（ライカジオシステムズ） ・K.I.T. 空間情報プロジェクトと地上型レーザー計測マニュアルワーキンググループの活動について：○鹿田正昭・徳永光晴・下川雄一（金沢工業大学） ・地上型レーザー計測の標準化に向けた実証実験について：徳田義孝（国土開発センター）・K.I.T. 空間情報プロジェクト マニュアル WG ・地上型レーザー計測のマニュアル案について：坪川勝彦（ナチュラルコンサルタント）・K.I.T. 空間情報プロジェクト マニュアル WG ・地上レーザスキャナによる地形測量：大森　晃（パスコ） ・地上レーザ測量成果の検定：津留宏介・植竹政夫（日本測量協会）
15：50-16：10	閉会のあいさつ　副会長　清水　英範

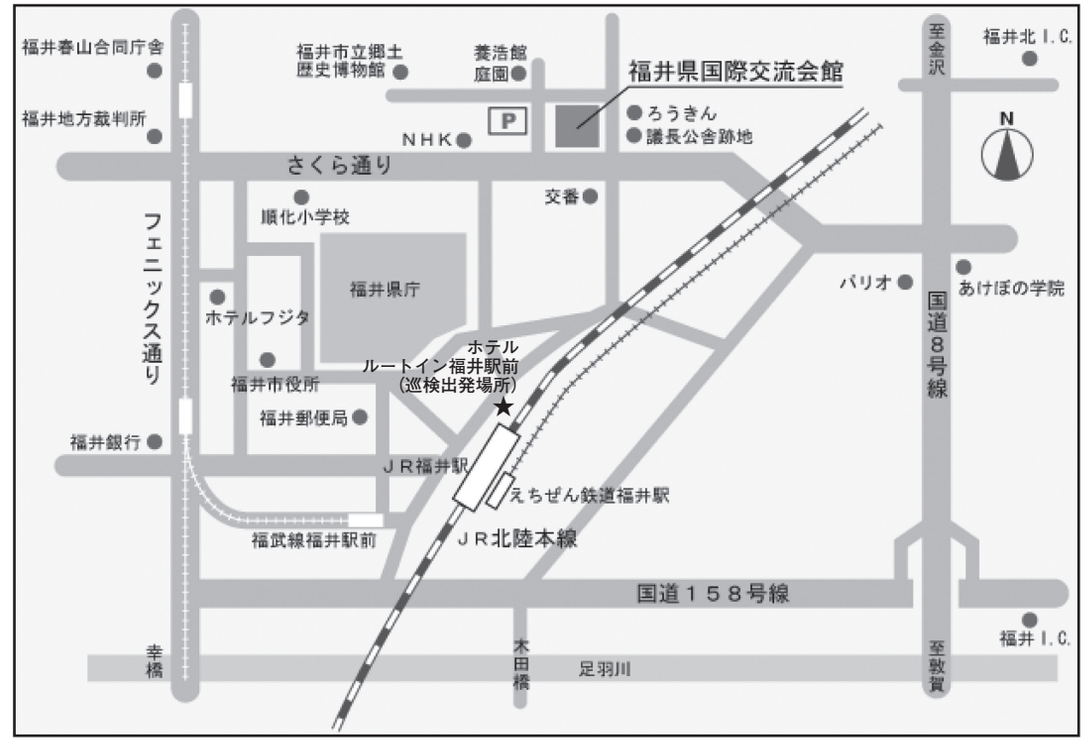
第２会議室

セッションＪ		リモートセンシング（分類）　司会　赤塚　慎（山梨県環境科学研究所）
9：30- 9：50	J-1	Impact of Coal Mining Activities on Land-cover/Land-use in Inner Mongolia – Case study in Holingol region ○Tana Qian・Kinoshita Tsuguki・Hasi Bagan（Ibaraki University）・その他１名
9：50-10：10	J-2	デジタル航空カメラを使用した土地被覆分類に関する検討 ○三澤　博（朝日航洋）・近津博文（東京電機大学）
10：10-10：30	J-3	リモートセンシングデータを用いたモンゴル草地における草地劣化の把握 ○関山絢子・竹内　渉（東京大学）
10：30-10：50	J-4	Landsat データを用いたインド・デリー市域の解析：領域と質の変化 ○岡本勝男（農業環境技術研究所）・宇佐美好文（東京大学）
10：50-11：10	J-5	パンシャープン画像の土地被覆分類における土地被覆境界付近の分類精度向上 ○細村　宰（東京電機大学）

セッションＫ		景観・GIS　司会　熊谷樹一郎（摂南大学）
11：20-11：40	K-1	小田原城御用米曲輪の景観形成に関する研究 ○廣瀬愛耶乃・近津博文（東京電機大学）
11：40-12：00	K-2	累積水量を用いた土砂災害発生場所の予測 ○沢野伸浩（金沢星稜大学）
12：00-12：20	K-3	GIS を利用した防災マップづくりによる多様なハザードへの対応を目指した防災教育 ○辻野和彦・辻子裕二（福井工業高等専門学校）
12：20-12：40	K-4	流域形状ならびに植生効果を考慮した斜面安定解析結果と台風による土砂災害との比較 ○辻子裕二(福井工業高等専門学校)･河邑　眞(豊橋技術科学大学)･辻野和彦(福井工業高等専門学校)

セッションＬ		地図・地形解析　司会　高木方隆（高知工科大学）
13：50-14：10	L-1	Pleiades データを用いて作成した地図情報の精度評価 ○藤原博行・大野裕幸・大塚　力（国土地理院）・その他１名
14：10-14：30	L-2	航空写真用テストフィールドによる高解像度衛星の精度検証報告 ○野中秀樹（アジア航測）・國井洋一（東京農業大学）・田中邦一（日本大学）
14：30-14：50	L-3	モザンビーク国ナカラ回廊経済開発戦略策定プロジェクトにおける地図データ作成 ○中西芳彦・西村　明・西尾　聡（国際航業）
14：50-15：10	L-4	写真地図における画像歪みの発生要因について ○三浦博之（朝日航洋）・近津博文（東京電機大学）
15：10-15：30	L-5	治水神禹王碑「禹甸荘」にみる石狩低地の治水利水 ○井上三男（郷土史家）

福井県国際交流会館

開催場所：福井県国際交流会館
〒910-0004
福井県福井市宝永３丁目１－１
電話：0776-28-8800㈹
FAX：0776-28-8818
HP：http://www.f-i-a.or.jp/

アクセス：JR福井駅から徒歩約15分
（タクシーをご利用の場合約５分）